

TOTTORI RYOKUSUI DAYORI

とっとり 緑推だより

NO.44

2019.12発行

公益社団法人 鳥取県緑化推進委員会

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県農林水産部森林・林業振興局内

TEL 0857-26-7416 FAX 0857-26-8192

E-mail:info@tottori-green.or.jp URL:<http://www.tottori-green.or.jp>

■会員の現況令和元年12月31日現在 ●正会員96名 ●賛助会73名 ●特別会員1名

■令和元年度 緑の募金

募金運動期間

春期 平成31年3月25日（月）～ 5月31日（金）

秋期 令和元年9月 1日（日）～10月31日（木）

皆様の温かいご協力、ありがとうございました。

森林は、水を蓄え、野生生物を守り、大気を浄化するなど様々な働きをしています。いま、その森林は整備が遅れています。

「緑の募金」は、この大切な森林を守り育てる運動です。森や緑を育てて、安全で住みよい故郷をつくり、次世代へ引き継いでいくため、一人でも多くの方に「緑の募金」への温かいご協力をお願いします。



令和元年度緑の募金の結果

街頭募金47万円、学校募金102万円、家庭募金1,539万円、

企業募金85万円、職場募金305万円、その他募金58万円、

合計2,136万円となり、募金目標額に対し85%の実績を上げることが出来ました。

皆様からご協力いただいた緑の募金は、外部有識者による「緑の募金等運営協議会」で審査等を経た上で、緑化事業の推進に大切に使わせていただき、皆様方の地域環境の改善等に役立たせていただきました。

ご協力いただいた県民の皆様、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。



緑の募金等運営協議会

■緑の募金交付金事業

令和元年度、鳥取県内19市町村301団体が緑の募金を活用した交付金事業を行いました。その中で、公益社団法人鳥取県緑化推進委員会岩美町支部の緑化活動を紹介します。

大岩地区公民館では、緑の募金交付金事業として、1年に2回（春と秋）に景観作り活動を実施しています。公民館及び周辺の環境美化・緑化を目的に、大岩地区公民館及び県道網代港線周辺を整備し、花植えをします。この道路は地域の方だけでなく、遊覧船乗り場に向かう観光バスなどもよく通る道であるため、少しでも気持ちよく通ってもらえばという思いで活動しています。（大岩地区公民館）



5月
大岩地区生涯学習推進員と岩美西小5年生児童と一緒に春の花植えをしました。

11月
大岩地区生涯学習推進員と大谷・岩本・沓井地区の老人会の方と一緒に秋の花植えをしました。



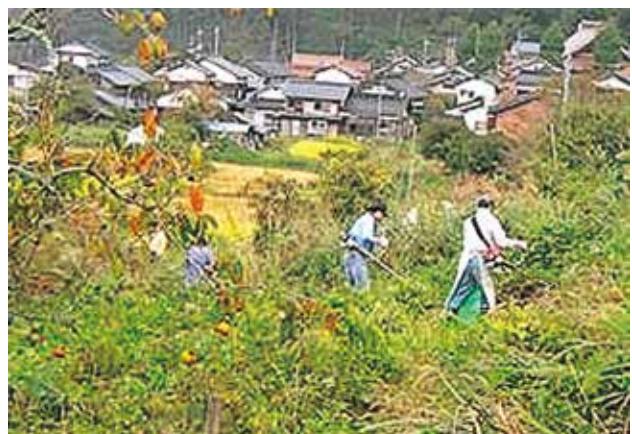
■緑と水の森林ファンド助成金事業

鳥取市青谷町 山根の里づくり作業部会の活動を紹介します。

山根の里づくり作業部会は、里山・原野に花や実、新緑や紅葉が楽しめる樹木を植栽するなど、明るく魅力ある里づくりを目指して取組を進めています。

当地区では、少子・高齢化に加えてイノシシ被害が多発。里山だけでなく、段々畑だった周辺農地もヤブ化が進みました。

今秋、オオヤマザクラ、シダレザクラ、イロハモミジ、紅梅、白梅、ハナモモ、スモモなど約150本の苗木を植えました。



より多くの地元住民の理解と参加を得るため、今年4月からは『月1ボランティア&カフェ』と銘打って、ヤブの刈り払いなどを毎月1回行っています。

雑草が繁茂した里山・原野のヤブを刈り払うと、パノラマのような明るい景色が広がりました。植えた苗木も、数年ほど経つと花や紅葉を眺めることができますので、みんなでそれを楽しみにしながら手入れを続いているところです。(山根の里づくり作業部会)

■森林山村多面的機能発揮対策交付金事業

日野町薪割り俱楽部の活動を紹介します。

主な活動は、放置竹林の伐採除去と広葉樹の利活用です。構成員は6名と少ないですが、20名近くの方々に協力をいただいて活動しています。

令和元年度、竹チッパーを導入。伐った竹を細かく碎き、土壤改良剤等として畑などに撒きました。バンブーチップを実際に使ってみると評判がよく、意外に需要があることがわかりました。

また、竹の一部を使って、竹炭づくりにも挑戦しました。大量の竹と薪が必要となるため大変でしたが、多くの方に協力いただき、地域内外の交流が深りました。

作業自体は大変ですが、多くの方と協力しながら、新しいことにもチャレンジし、楽しく活動に取り組んでいます。(公益社団法人鳥取県緑化推進委員会日野町支部)



■令和元年度中国・四国地区緑化功労者表彰

10月24日～25日、香川県高松市「ホテルマリンピアさぬき」において、第68回中国・四国地区緑化推進協議会総会が開催されました。

その席で、中国・四国各県から推薦された、中国・四国地区緑化功労者の表彰が行われ、鳥取県からは江府町立江府小学校が受賞しました。

江府小学校のある江府町は、西日本有数のブナの森があり、平成21年の小学校統合時から総合的な学習「ブナの実プロジェクト」に取り組んで、ブナの採種・播種・育苗・植樹を行っています。

児童は、ブナの育苗や植樹を体験する中で、郷土の森林の豊かさや森林と水との関係などについて学び、郷土の豊かな自然を知り、郷土を愛する気持ちを育んでいます。

江府小学校の皆さんが植えた苗木が大きく育つことを期待しています。

■緑の募金贈呈式



11月28日、株式会社新日本海新聞社様から「緑の募金」へのご寄付があり、県議会議長室に於いて、営業事務局営業局長 遠藤 一郎様より当委員会 藤繩 喜和理事長（県議会議長）へ贈呈していただきました。

ご寄付頂きました「緑の募金」は、本県の緑化推進のため有効に活用させていただきます。

■みどりの少年団交流集会

子どもたちが森林の中での活動や相互交流を通し、緑を守る大切さや健全な育成を目的として、みどりの少年団交流集会を毎年実施しています。

8月5日（月）～6日（火）の1泊2日で、倉吉市立北谷小学校、湯梨浜町立羽合小学校、米子市立淀江小学校の各みどりの少年団と引率の先生、事務局総勢39名が参加し、東伯郡琴浦町山川の鳥取県立船上山少年自然の家において、みどりの少年団交流集会を開催しました。

入所式の時はみんな緊張した様子でしたが、午後は天気も良く絶好のカヌー日和でした。初めてカヌーに乗った人もいましたが、みんな上手に漕いでいました。いかだはグループで上手に漕がないと行きたい方向に行かないので、班のみんなで声を掛け合い、協力し合っていました。カヌーといかだを楽しんだ後、フローティングロープ（水面に浮くロープ）を伝って、ダム湖を渡る活動もしました。冷たい水の中でみんな歓声を上げて楽しんでいました。



野外炊飯は班ごとに分かれてカレー作りです。かまどに火をおこすのに悪戦苦闘しましたが、どの班も上手にご飯が炊け、おいしいカレーをいただきました。

2日目は、東日本大震災後、東北から鳥取県にギンザケ養殖場を移転し、船上山の湧水で採卵・稚魚生産を行うニッスイグループから、森と川と海、漁業の関連についてわかりやすくお話をいただきました。その後、「ニッスイのおさかなをはぐくむ湧水と海を守る森」に移動し、鳥取県中部総合事務所、中部森林組合の方々に鎌の使い方の説明を受け、みんなで下刈作業を体験しました。



昼食の後はウッドクラフト。どんぐりや木の枝を使って、かわいらしい作品を作っていました。

多くの方々のご協力をいただき、予定していた日程をすべて滞りなく実施することができました。少年団のみんなも元気に活動し、交流を深めることができたと思います。

また来年も楽しい交流をしましょう。

■誕生記念樹贈呈事業

赤ちゃんの誕生をお祝いするとともに、緑を育てる大切さを親子で共有してもらうため、県内に居住している誕生1年以内の赤ちゃんを対象に「誕生記念樹贈呈事業」を実施しました。平成30年9月1日から令和元年8月31日生まれの赤ちゃんを対象に募集したところ、100名の応募がありました。

記念樹は、「ヤマボウシ」「ハナミズキ」「シャラノキ」「コデマリ」「オタフクナンテン」「ムラサキシキブ」の6種類のうちから選んでいただきました。

お贈りした誕生記念樹が赤ちゃんの成長を見守ることを願っています。



贈呈したコデマリと伊織ちゃん



贈呈したシャラノキと茉ちゃん



贈呈したコデマリと心晴ちゃん



贈呈したムラサキシキブと晃生くん
(お父さん、いとこたちと一緒に)

■令和2年用国土緑化運動・育樹運動標語の入選

令和2年用国土緑化運動・育樹運動標語の募集を行ったところ、65点の応募がありました。その中から6点を選考し、公益社団法人国土緑化推進機構へ推薦した結果、湯梨浜町立羽合小学校6年 尾島 美郁 さんの「創ろうよ 緑あふれる 地球の未来」が入選しました。(37都道府県から337点の応募)

おめでとうございます。

■学校環境緑化モデル事業完成式

子ども達に環境教育と憩いの場が完成しました。

10月16日(水)、鳥取市立遷喬小学校(半田 雅人校長)、翌10月17日(木)鳥取市立桜ヶ丘中学校(音田 正顕学長)で学校環境緑化モデル事業の完成式典が行われました。

この学校環境緑化モデル事業は、「ローソン緑の募金」を財源とした助成事業で、各県の緑化推進委員会を通じて全国60の小中学校に助成されるものです。

令和元年度、鳥取県内ではこの2校が助成決定を受け、事業に取り組みました。このほど事業が完成し、式典が行われました。

遷喬小学校は、創立146年の歴史を持ち、鳥取市の中心市街地に位置する小学校で、今回ヤブコウジ755本、サツキツツジ53本と樹木の手入れを行いました。

また、桜ヶ丘中学校では創立40周年記念事業として、安行寒桜1本の植樹と樹木の手入れを行いました

児童・生徒の皆さんには、緑化運動への参加意欲を高めるとともに、緑の募金が身近な所で役立っていることがわかつてもらえることを期待しています。



鳥取市立遷喬小学校完成式典



鳥取市立桜ヶ丘中学校完成式典

会員募集のお願い

公益社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展及び国際緑化に寄与することを目的として設立された公的団体です。

本委員会の組織運営は、緑の募金及び正会員(県、市町村、団体、個人)及び賛助会員(企業)の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・ご協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一口 1万円

お問い合わせ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
鳥取県農林水産部森林・林業振興局内
公益社団法人鳥取県緑化推進委員会
電話：0857-26-7416
FAX：0857-26-8192
URL：<http://www.tottori-green.or.jp>

